

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 一般社団法人Water-n(ウォーターン)	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 代表理事 奥田早希子 Tel.090-7214-0772 Mail:sakiko@water-n.com
代表者氏名 代表理事 奥田早希子	

部門名 学校・NPO・任意団体等部門	事例名 冊子「Water-n」発行と冊子を活用した「水を還す」意識の醸成活動
-----------------------	---

事例の概要(適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

●「水を還す」意識のある未来を創造するために暮らしや生産活動などで出た汚水を処理して「水を還す」下水道の存在に気付いてほしい。「水を還す」仕事の意義ややりがいを知り、下水道の仕事がしたいと考える学生を増やしたい。あらゆる業種において、仕事の中で水への負荷の減らし方を考えてほしい。その思いから「水を還す」ことに気づききっかけとなる冊子「水を還すヒト・コト・モノマガジン『Water-n』」を制作し、全国の大学・高専の研究室・学生に無料配布しています。

●媒体概要:切り口はファッションや遊び、ヒト! 学生が興味を持ちそうなファッションや遊びを切り口とし、それらと下水道、汚水処理との関係をおしゃれに伝えるよう工夫しています。また、下水道で働く先輩の紹介、下水道による環境改善効果を伝える連載も続けています。2017年に創刊以来、年2回発行。各号約8000部印刷、約7500部無料配布。

●大学との協働: vol.4の表紙は女子美術大学(大森悟教授)の学生に手掛けていただきました。また、冊子を用いて中央大学(山村寛教授)、東洋大学(山崎宏史准教授)、東京大学(佐藤弘泰准教授)で講義する機会をいただきました。中央大学では協賛企業との協働授業として実施させていただいており、2020年で3回目となりました。



各号のテーマと主な内容		
vol.1	DENIM	デニム排水処理
vol.2	OUTDOOR	キャンプ場の排水処理
vol.3	Hair Styling	シャンプーに含まれるシロキサンと汚泥利用
vol.4	Aquarium	水族館から考える水循環
vol.5	FOOD	バーチャルウォーター
vol.6	COSMETICS	コスメ成分と下水処理
vol.7	MONEY	下水道使用料
vol.8	Rain	雨から街を守る

トイレ洗浄シートは水に溶ける? 協賛企業& 大学との協働講義で下水道をさらに深く!



エントリー事例の特徴(施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

○LEE、パタゴニア、モンベル、ライオン、品川水族館等、学生が知っている企業・商品と下水道の関係性を、下水道の冊子とは思えないおしゃれなデザインで伝えることで、下水道をもっと身近に感じられるように制作しています。

○中央大学の講義では、下水道に負荷をかけない商品選択をしたいなどの感想があり、行動変容につなげることができ、コメントを返しました。また、受講生から1名だけですが下水道業界に就職されました。女子美術大学の学生も、下水道を知ることができたことと好感触でした。

付属資料の提出	○あり・なし(どちらかに○)
---------	----------------